

南丹市総合教育会議議事録

<平成 29 年度第 1 回>

平成 30 年 1 月 30 日

平成29年度第1回南丹市総合教育会議議事録

1 日 時 平成30年1月30日(火)
開会：午後3時00分 閉会：午後4時20分

2 場 所 南丹市役所 2号庁舎 3階 301会議室

3 議 題

- (1) 園部・八木公民館改修に係る状況報告について
- (2) 今後の保育所等のあり方に係る検討状況について

4 出席委員

佐々木市長、
武田委員長、高屋委員長職務代理、城戸委員、森教育長

5 会議に出席した職員

<説明員>山内教育次長、後藤教育参事、中川教育総務課長、山内学校教育課長、寺田社会教育課長、弓削市民福祉部長、榎本福祉事務所長、西田子育て支援課長、野々口子育て支援課参事
<事務局>堀江企画政策部長、池田企画政策部長(地方創生担当)、中川定住・企画戦略課長、塩邊定住・企画戦略課長補佐

6 傍聴人 4名

内3名(報道関係)建設タイムズ、京都新聞、南丹市情報センター

7 会議の経過

<1> 開会(進行：事務局)

◇市長あいさつ

本日、平成29年度第1回南丹市総合教育会議を開催いたしましたところ、教育委員の皆様には、大変ご多忙の中、また長引く厳しい寒波の中にもかかわらず、ご出席いただきましたことに心からお礼を申し上げます。

平素から南丹市の教育振興に対しまして、格別のお力添えやご指導を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。

長年にわたる課題でございました小学校再編を行った後の学校運営につきまして、それぞれの小学校において順調な運営がなされており、子どもたちも元気に学校生活を送っているところです。教育委員の皆さま方のご尽力に心から感謝を申し上げます。

さて、本日の議題につきましては、昨年度の総合教育会議でご意見を賜りました園部公民館と八木公民館の改修に係る現状報告と、昨年12月に開催した子ども・子育て会議でご了承いただいた「今後の保育所等のあり方」について、ご説明させて

いただきたいと存じております。

いずれもまちづくりにとって、また市民の皆様にとっても重要な課題でございます。この課題を総合教育会議のメンバーの皆様方と現状を共有し、今後の方向性を見定めてまいりたいと考えております。

限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を賜りますことをお願い申し上げます、また、引き続き、南丹市の教育行政の推進に対しましてはより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

◇教育委員長あいさつ

本日は、南丹市総合教育会議を開催いただきまして誠にありがとうございます。

日頃は、市長様におかれましては本市教育行政の推進にあたりまして、深いご理解、さまざまなご支援をいただいておりますことに心からお礼を申し上げます。

先ほどもお話にありましたが、小学校の再編から3年、2年と経過しておりますが、順調に学校運営がなされています。

また、小中学校の空調設備につきましても迅速に整備いただき、この夏も環境の良いところで子どもたちは学習を行えたところです。ありがとうございます。

先ほどもございましたように、本日は社会教育施設の今後や保育所の今後のあり方について報告をいただく中で、幼児教育、保育のあり方やその連携について議論を深めたいと考えております。平成27年4月から地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正になり教育委員会制度が大きく変更となりました。その改正のひとつが本日の総合教育会議になると理解しています。南丹市では、これまでも市長と教育委員との間で適宜、深い懇談会を開催いただき、十分な意思疎通が図られてきたところですが、このような法律に基づく会議の場が設定されたということで、ますますコミュニケーションを深めながら南丹市の教育のあるべき姿や課題などを共有していくことが大切であると認識しています。明日の南丹市を担う子どもたちが生涯にわたって主体的で心豊かに学び続け未来に向かってたくましく生きる力を育めるよう市長と一層の連携を図りながら全力で取り組んでまいりたいと考えています。本日は、何卒よろしく申し上げます。

<2>議事（進行：市長）

（1）園部・八木公民館改修に係る状況報告について

○教育委員会社会教育課から資料により説明

【要旨】

- ・公民館の移転及び耐震に向けた改修工事後の供用開始時期について、八木公民館を2年後の2020年4月、園部公民館を3年後の2021年4月の予定とします。
- ・八木公民館について、機能移転工事終了後、現公民館の解体工事完了を2021年3月の見込みとします。

【市長】

ただ今の公民館に係る説明に対しまして、ご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。

【委員長】

耐震をするにあたって、機能充実をするために外周廊下の設置をする予定となっておりますが、この外周廊下を設置するにあたってシンボリック要素のある公民館

ですので、外からの景観が大きく変化するという事はないのですか。

[教育委員会事務局]

その点も踏まえまして、新たに増設する部分でございますので、今の景観をできるだけ損なわないように、景観にあった形で実施設計を進めてまいりたいと考えております。

[市長]

八木公民館につきましては、八木支所 3 階への機能移転完了後に使用を停止して、その後、解体するという事によろしいですね。また、園部公民館ですが、ホールの利用について、停止している関係から国際交流会館などの代替施設を使われていますが、その事で何か問題が生じていますか。

[教育委員会事務局]

ホール等につきましては、耐震に係る数値がかなり低いということで平成 29 年 4 月から閉鎖とさせていただき、国際交流会館のホールや日吉町生涯学習センターなどを代替に利用いただいているというのが現状です。できるだけ早く解消するためには公民館のホールを充実して改修していくというのが一番ですし、その間につきましては、文化活動そのものが停滞しないように事務局としても十分配慮していきたいと思っています。

[市長]

これは使用料も配慮しているのですか。その内容だけ簡単に説明をお願いします。

[教育委員会事務局]

料金につきましては、南丹市文化協会に加盟いただいている団体等につきましては、今まで園部公民館を使っていたのが、違う施設を使用いただいておりますので、そのために必要となった経費の一部を市から補助しており、文化活動の停滞とならないように配慮させていただいております。

[市長]

他にご意見等はございませんか。

なければ、ただ今の取組状況につきましては、ご了解いただいたものとし、説明のあった今後の予定に沿って、できるだけ早期に進めていただきますようお願いいたします。

(2) 今後の保育所等のあり方にかかる検討状況について

○市民福祉部子育て支援課から資料により説明

【要旨】

- ・新たに保育施設を設置することとし、民間活用を中心に多様な設置・運営方法について検討を進めます。
- ・施設の類型（施設の区分）は、0～2 歳児も受け入れる認可保育所か認定こども園とします。なお、保育需要の見込みや民間事業者の動向なども勘案して、小規模保育園や家庭的保育園などの地域型保育給付施設の開所についても並行して検討を進めます。
- ・施設の規模は、最低定員を 150 名とします。
- ・施設の設置場所については、今後の検討課題とします。
- ・園部地域に新たに保育施設を整備後の既存施設については、当面の間は存続させることとします。
- ・計画期間については、2018 年度から 2020 年度までの 3 か年間とします。

[市長]

補足をさせていただきますと、資料 4 ページの国の動向で「人づくり革命」というところで幼稚園や保育所の費用を無償化する方向が打ち出されているのですが、この内容は保護者に対する措置になります。また、保育士の待遇改善、例えば給料等の増額につきましては、民間施設の保育士に対する措置だけで、市町村に対しての補助といったことは全く盛り込まれておりませんし、これから増設や建設する市町村の施設につきましても、補助金などは特段措置されておりません。民間に対しては、国から配慮がなされていますので、民間の力を借りるということも念頭に入れて考えざるを得ないのではないかとということで、整備計画を立てたという背景があることを付け加えさせていただきます。

ご意見ご質問等ございましたらお願いします。

[委員]

資料 1 ページ目のこれまでの動向のところの「当初では 2 割以上人口が減少している」の人口の分母となる人口は、どの人口のことでしょうか。総人口であれば南丹市の場合、約 37,000 人から約 33,000 人ですから 1 割強しか減少していないと思うのですが、子どもの数が 2 割減ったということでしょうか。

[市民福祉部]

南丹市の総人口で算出しております。

[委員]

南丹市の総人口であれば、2 割も減少していないと思うのですが、それは調べておいてください。それから、在り方検討の資料ですが最後のページの「既存施設の取り扱い」のところで「園部保育所、城南保育所について当面の間は存続させることとします。」とありますが、廃止するというのもあるということでしょうか。

[市民福祉部]

今後の人口規模や施設の状況に応じてはそのようなことも考えていかななくてはならないと思っておりますが、現段階では廃止ということは考えておりません。

[委員]

先日、園部保育所と城南保育所に視察に行き、その時に保育所要覧というものをいただきました。その中では、平成 27 年度に城南保育所の耐震工事が完了と書いてあります。また、平成 28 年度に園部保育所の増設、給食室の改修、園部保育所の 2 クラスの保育開始と書いてありますが、これは 2 年と 3 年前の話です。今回、廃止という話が出てくるというのは、計画性がないような気がするのですが、その辺りはどのように思われますか。

[市民福祉部]

今後、10 年程度は既存 2 施設が存続した形になると考えております。この先の 20 年、50 年単位など長期にわたりますと当然人口の増減を含めて検討をしていかなければならないと思っております。

[市長]

補足をいたしますと、園部保育所、城南保育所では老朽化が進んでいます。これまで限られた敷地の中で施設の増築で対応してきましたが、一方では老朽化も進展しており改築なども行ってまいりました。こういった状況の中で今後どれだけ手を入れて継続できるかという問題がございます。また、新たに施設を設置し既存保育所機能を移転したほうがいいのかという意見もありますが、現

状では新たな施設の設置と現在活用している城南・園部の両保育所については、当分存続していくとい考えです。ただ老朽化も進んでおりますし、既存保育所の使用については考えなければならない時期が来ますが、今は現状のまま使うということです。それともう一つの大きな課題として、ここ数年は保育所ニーズが高まっておりますが、これがどこまで続くかということで、今後少子化が極端に進展すれば縮小も考えなければなりません。こういうことを鑑みたうえでの報告なのだということをご理解いただければと思います。

[委員]

南丹市の子ども数はどんどん減っていますが、保育所に入る子どもの数はどんどん増えています。この現状の原因の把握はされていると思いますが、南丹市の保育所にお伺いしてお話を聞かせてもらおうと、保育所に入るときに提出される就労証明書に疑問符のつく方がおられるのではないかとということです。今まで子どもさんを自分で育てようと思っているお母さんがほとんどだったのですが、保育所に任せてしまう母親が増えているような気がします。それで保育所のニーズが増えてきているのではないかと心配しています。例えば、10年20年前でしたら3歳児までは保育所に預け、4歳児5歳児は幼稚園に預けて小学校に入学するという子どもさんが多かったのですが、最近は4歳児5歳児も保育所に預けるというのが増えている気がします。そこで、幼稚園教育の在り方も充実させるという方向で考えていただけたら、保育所に通う子どもの数が少しは減るのではないかと思います。ですから、今の幼稚園の教育内容の充実や時間外保育の在り方についても少し考えていただけたらどうかと思います。

[市民福祉部]

ただいまご質問いただきました前段の部分でございますが、現在は平成27年度から保育については新制度に移行いたしました。その中で従前の場合は「保育に欠ける」という言い方で保育所に入所できておりましたが、現在は「保育の必要性がある」ということで認定をしております。具体的には、就労等によりまして保育所への入所決定ということになります。現状は就労証明等を添付していただき、それを確認するということになっております。就労証明につきましては、保護者のそれぞれの勤務先等から証明書を取得いただき、提出いただいておりますので、そちらをもって確認させていただいている状況でございます。特に近年、パートを含め就労される方が非常に多く、家計の収入をできる限り増やすためということでされています。出産されて0歳児からの入所も増えてきたというのが今現在あります。

加えまして、入所に関しては、園部・八木地域の入所者が多く、特に0歳から2歳児が集中している状況です。新たに入所を希望される方に面接をさせていただき、就労の実態があるのか、必要性があるのかということ詳しく調査し、その必要性を十分吟味したうえで判定しております。事務的には、条件がそろっていれば入所という判定をせざるを得ないということは確かにあり、そこをどう判断するかということは大変難しい問題でございます。あえて必要性がないという判断をするのは難しい状況であると考えております。合わせて幼稚園教育の充実ということは、ご指摘いただいたとおりで総合的に教育の中身を充実させる必要性があるのではないかと考えております。また、先ほどございました園部地域の今後の在り方ですが、あくまでもこちらの思いではございますが、民間の手法を取り入れながら、新たな施設を建設したいと考えております。様々な情報を集め

てこのような方法が良いのではないかという方向を出しておりますが、そういった民間事業者があるのかはまだ未知の段階です。民間事業者とうまく進めていく中では公立の部分もいろいろな機能を持たせていく保育所が必要であり、将来的に様々な面から判断していかなければなりませんので、当面は3施設できれば一番いいのではないかということで検討してきた状況です。

[市長]

付け加えをさせていただいて、実は南丹市内におきましては聖家族幼稚園という私立の幼稚園がありまして、私も以前から毎年1回保護者の皆さん方また、園の園長先生をはじめ先生方とも懇談という形で意見交換させていただいております。その中では、保育所ニーズがこれだけ高まっている状況で私立幼稚園の在り方について悩まれている現状があります。長年にわたり南丹市の幼児教育の推進に貢献いただいている私立幼稚園でございますので連携をとりながら公立、私立それぞれの特性を生かし、また幼稚園、保育所のそれぞれの役割を生かして、子どもたちのために運営し、支援していくというのが私の基本的な考え方です。

[委員]

園部保育所では、廊下に多くの荷物が置かれ、消防の立ち入り検査では、改善の指導を受けているということですが、職員に聞くと収納する場所がないということでした。また増築を何度も行っていることから、通路が迷路のようになっているということも聞かせていただきました。この状況でもし火事が起これば大変なことになると思います。廊下に物があふれているという状況は、早急に改善していただきたい。園部保育所の4・5歳児については、定員が19人のところに17人が入所しており、教室の中に子どもの物を入れると保育する場所がなくなるということで廊下に物が出てきています。また保育士が不足しているということですが、1クラス35人までは2人の保育士で対応できる。教室がもっと大きければ、保育士が有効に配置できるのではないかと。大きい教室が必要であることも検討いただきたい。

[市長]

限られた敷地の中で施設の増築を行ってきたことからそういった現状になっているのが事実だと思います。保育士ですが法定の数が決まっております、20年前までは3歳からの保育所への入所が主流でしたが、最近では0歳からというようになってきて、保育基準からみましても0歳児は3人に1人の保育士、1・2歳児が6人に1人、5・6歳児が30人に1人となっているので、低年齢児の保育需要が高まっており、現在では多くの保育士が必要になっています。手狭になっているという一つの要因としては保育士が多いということもあると思います。施設について教室の面積は確保していますが、収納などはどうしても狭くなるのが現状で、ご指摘のとおりです。

[市民福祉部]

保育所では、消防計画やそれに基づく避難計画を立てています。常日頃から避難経路における物品の片付けは指示しているところですが、避難経路の障害となるものがないように取り組んでいるところですが、実態としては難しいところもあるということです。

[委員]

保育所の保育指針が来年度から変わると聞いています。その中で、教育的な側面も大事にするということが盛り込まれています。小中学校については、教育委

員会に指導主事という制度があり指導・監督しています。保育所・幼稚園については、そういう制度がなかったと記憶しているので、指導・監督する立場の者がおられないと思います。そこで、教育的な側面を大事にするということであれば、指導主事という立場の者を幼稚園・保育所に配置してはどうかと思っています。以前、園部の保育所に、学校管理職経験者がおられて、指導にあたってこられました。そのような立場の方を配置して幼稚園・保育所を指導・監督してもらえたら、保育の内容も教育的側面も向上していけるのではないかと考えます。市長のお考えはいかがでしょうか。

[市長]

幼稚園教育と保育は、文部科学省と厚生労働省の所管の違いがあります。また、南丹市では、旧町ごとに就学前保育や教育については違いがあり、その運営に大変苦慮してまいりました。日吉、美山では幼稚園はございませんし、八木では、保育所・幼稚園を一緒にした幼児学園という形で運営しており、園部では、幼稚園と保育所があり、私立の幼稚園もあるという状況です。子育てという一環の中で、保育所と幼稚園を分けて、施策として進めていけるのかと考え、子育て支援課を市長部局に設けて教育委員会と連携して保育所、幼稚園の運営に取り組んでおります。現在では、認定こども園など法的に変わってきていますので、より教育委員会と市長部局がしっかりと連携をしながら議論して進めていかなければならないと考えております。保育士、幼稚園教諭の免許の問題、またそれぞれの相互交流など、どう実践していくべきか、教育的見地を保育所の中に取り入れるとなると園長は指導主事的な方にできるかもしれませんが、一般教諭や保育士の研修などをどのようにしていくのかなど大きな課題がありますし、そういったところが今後の子育て支援では重要な部分になってくると考えております。

[市民福祉部]

委員ご指摘のことにつきましては、大変貴重なご意見をいただきましたと考えております。認定こども園化の方針を計画にあげておりますが、日吉、美山には幼稚園がありませんので、なかなか具体的な議論もできておりません。こういった状況の中では、指導主事的な立場の方の配置という必要性も高まってくるという思いを持っております。教育委員会のご指導をいただきながら実現していきたいと考えております。

[委員]

行政上は、教育行政、福祉行政と別れており、それぞれが責任をもって取り組むべき分野となっておりますが、現場では教育や保育という区分はなく、本市ではそれぞれの中学校ブロックを単位として、就学前、小学校と中学校がしっかり連携をするという校種間連携協議会を組織しておりまして、小学校と就学前の保育や教育を「つなぐ」取り組みを進めています。次年度小学校に入学する子を対象とした「もうすぐ1年生事業」や就学前の保育を小学校の先生が参観したり、入学後の子どもたちの様子を保育士や幼稚園教諭が参観したりと、そういった機会を設け、就学前と小学校の接続を重視した取り組みを4年ほど前から実施しています。このような現場の取り組みを大切にしながら、行政としてどう連携していくかがこれからの課題であると考えています。

[市長]

現在取り組んでいる事業に小学生を対象とした放課後児童クラブがありますが、対象の学年が拡充されており、今後6年生までが対象となる予定です。この事業

は厚生労働省管轄であり、福祉政策で学校は関係ないという声を聞いたことがあります。私は、放課後児童クラブに通っている子は小学生であり関係ないとは言えないと苦言を呈したことがあります。福祉と学校教育が交じり合ってきた昨今では、教育委員会と市長部局とが常に連携をしなければなりませんし、教育委員の皆様方にも保育という部分に目を向けていただいてご意見をいただきたいと思えます。特にこういった総合教育会議を設置していますし、教育長とは毎週月曜日の朝に副市長を交え3者で協議の場を設けています。課題が生じた場合の対応というのは、常にしていかなければなりません。本会議におきましても多くのご意見や課題を出していただいておりますので、課題を整理し、議論を深め、施策につなげていきたいと考えております。

[委員]

幼稚園と保育所の良いところを合せた就学前の施策を進めていただきたいと思えます。

[市長]

幼稚園には幼稚園の特性があり、保育所には保育所の特性がありますので、それぞれの特性が生かされる運営をしていかなければならないと考えております。子どもたちの健やかな成長の観点では、教育委員会と市長部局とが常に問題意識を持って連携していくことが必要であると認識しています。

[委員]

城南保育所では、40人の保育士がおられますが、職員室には17人分の机しかなく、残りの方は3畳程度のスペースにおられる状況です。勤務時間の違いがありますので、全員がそろわれるということはないのかもしれませんが、働く環境としては良い環境とは思えません。働く場の環境改善も保育士確保の面からは大事ではないでしょうか。また乳児と幼児の動線が重なっており、事故が起こる可能性が高くなりますので、乳児と幼児の動線が重ならないように改善をお願いします。

[市長]

特に安全面は重要なことですので、今できる改善に取り組みたいと思えます。また、保育士の確保ですが、大変難しい状況で、わずかな時間だけでもお願いして勤務いただいている状況です。嘱託職員、臨時職員の方が多いのが実態ですが、現在では保育士の取り合いになっています。京都府内でも問題になっておりますが、待遇面の問題で地域給の格差があります。本市でも正職員の保育士数が、新年度に向けて不足しており、2次募集している状況です。それで確保できなければ3次4次募集としていかなければなりません。臨時職員については常時募集に近い状態です。保育士の免許を持たれていても給料や勤務時間などの待遇面での不満もあり他の仕事に就かれたりしています。国で待遇面の改善が示されていますが、なかなか難しいところがあります。私どもも努力してまいりますし、国にも要請していきたいと思っております。子どもたちの成長を担う大切な存在でありますので、適正な採用に努力してまいります。

[委員長]

短期間の中で取り組む必要があります、この計画をまとめていただいたと思えます。京都市では、家庭で10~15人くらいの子どもの預かって、保育所が空けば順次入所していくという取り組みをされていますが、南丹市で取り組むことはできないのでしょうか。こういった制度に取り組むことで、今後少子化の進展が見込まれる

中で、保育需要への柔軟な対応が可能になるのではないかと考えています。

[市民福祉部]

20人以下の0～2歳までの子どもを受け入れる小規模保育という制度があります。京都市内であれば小規模保育を担う民間事業者がおられるかもしれませんが、南丹市内では難しいと考えております。また、数人で子どもを預かれる制度もありますが、南丹市内で受けていただける方を探すのが難しい状況です。そういったことから、施設の新設という方針をまとめさせていただきました。

[委員長]

京都市の制度は、保育士の資格があれば自宅で預かれるというもので、そこに行政が補助をするというものであったと思います。資格のある方で、勤めには出ていないが自宅で預かるのならできるという方がおられ、うまくマッチングが図れていると聞いています。

[市民福祉部]

家庭的保育という制度になりまして、市町村が認可をするものです。本市でも進められるのであれば、進めたいと考えておりますが、認定の基準に給食調理をするというのがあります。保育はできるが、給食の設備を整えるのは難しいという方が多いというのが実態です。

[市長]

保育と幼児教育は一体のもので、教育の部門と福祉の部門が連携していかなければなりませんし、子どもたちの健全育成が大きな課題の中で、0歳児から保育所に任せるといのがよいことなのか、保育所の存在がどの部分を担うのか、また家庭はどの部分を担うのか、市長部局も教育委員会も含めて十分研鑽を積み協議をしてより良い制度にしていかなければならないと考えております。現在、園部地域での保育所の存在というのは難しい問題です。説明しました骨子案につきましても、このとおりに進められるのかということがありますが、2021年度には新たな形で保育を進めていくということを決めておりますので、南丹市全体で取り組むべき課題であると考えております。ご意見やご要望を定例の教育委員会でお出しただけでしたら、市長部局で共有してまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。この議題は、今日で結論が出るものではございません。今後も教育委員さんに進捗状況を報告させていただきますので情報共有を図っていきたくて考えております。これからの重要な検討課題として位置付けていきます。

[委員]

教育委員会で学校視察をしていますが、保育所視察もさせていただきたいとの意見が出ておりますがご協力いただけますでしょうか。

[市長]

市民福祉部から各保育所長に教育委員会からの視察の申し出があり、来年度から対応いただく旨をお願いしてください。

その他も含めまして、何かございませんか。

[委員長]

別の話題になりますが、かやぶきの里で雪灯廊が開催されており初日に4,000人弱が来場されています。これから文化庁が京都府に移転してくることもあり、ますます文化や歴史に重点が置かれるのではないかと考えております。南丹市の中でも文化財を起爆剤として、まちづくりや振興が図れるのではないかと考えて

おります。教育委員会の文化財部門だけが取り組むのではなく、市長部局も一緒に市の振興施策と一つとして進めていければと考えており、そういった内容でも議論させていただく機会があれば嬉しく思います。

[市長]

美山町全域を含む京都府の中部地域が、京都丹波高原国定公園に指定されました。道の駅美山ふれあい広場にあります農業振興総合センターを京都府において国定公園のビジターセンターとして改修を進めていただいております。この3月にオープンする予定ですが、単なる国定公園のビジターセンター機能だけでなく、広い意味での文化振興の観点も必要であると考えており、文化の薫り高いまちづくりを進めていきたいと考えております。星野リゾートのホテルが茶畑景観を活用し和束町に進出すると聞きました。文化と観光はまちづくりの面で大きな要因となってきますし、文化の薫り高いまちづくりというのは、子育てや教育分野の面でも大きな意義があると思っています。かやぶきの里の雪灯廊の期間中に京阪京都交通が貸切バスを運行していますが、去年も今年も一週間分の予約が30分で満員になったとのことでした。私も雪灯廊の初日に現地を訪れたのですが、外国人の方が大変多くおられました。今後は単なる観光というだけでなく、国際交流に発展させていかなければならないと思いました。

文化の薫り高いまちづくりを進めるためには、教育委員会と市長部局が常に連携していくことが重要と考えております。

その他、何かございませんか。

(特になし)

[市長]

本日の議題となりました公民館と保育所の在り方につきましては、大変重要な問題であります。また、限られた期間で進めていかなければなりません。本会議については、必要があれば随時開催できるように関係部署で連携し、対応いただくようお願いいたします。

私は、今日まで、市政推進の中で教育委員会との連携は特に重要であると考えてまいりました。4月で退任はいたしますが、この総合教育会議を有効に活用し、教育や文化の振興につなげていただきたいと思います。

それでは、南丹市総合教育会議をこれにて閉会とします。本日はありがとうございました。

< 3 > 閉会